

キャリアの在りか

～時代を生き抜く「じぶん」を創る～

星野 宏

まえがき

今回出版の話をいただき、今の私に何が伝えられるか非常に悩みました。長い人生経験があるわけでもなく、何か偉業を達成したわけでもなく、飛び抜けた才能があるわけでもない私に、読んでいただく皆さんの「ため」になるような何か伝えられるのか。そう考えていた時に、ふと気づきました。何かを伝えようとする事自体が間違いであって、どこか上から目線になつていないだろうか。私はこれまで仕事を通じて、若くは中学生からご高齢の方まで、本当にたくさんの方と出会い、その方々のお話を聞かせていただいています。自分の仕事に誇りとやりがいを持つて働かれている方もいらつしやれば、それを見つげようと一生懸命活動をされている方もいらつしやいます。色々な事情から働きたくても今は働けない方、その状況の中でも社会のために何かやりたいと悩んでいる方もいらつしやいます。様々な状況や立場、生き方、価値観を持った方と関わり感じていることは、昔と比べて、自分自身で人生を組み立てていくことが、より強く求められてきているということ。そのための力をつけていくことが、現代をより良く生き抜いていくために必要なのだということです。ここで誤解がないように伝えておきたいのですが、決して、すべての責任を個人に持つてと言っているわけではありません。私たちは誰もが時代を選んで、地域を選んで、環境を選んで生まれてくることはできません。生まれてきた時代の流れ、社

会の政策や経済状況、生きている中で起こる様々な出来事、関わる人々など、自分以外の環境の影響を受けて生活しています。ただ、社会がもつとこうなってくれたら、会社がもつとこうしてくれたり、あの人がもつとこうなってくれたらと自分以外の要因に期待だけして、何もせずに耐えて周囲の変化をただ待っている人生はどうでしょうか。そうではなく、自身にできることがあるのであれば、まずそこからでも何か始めてみませんかということです。私にできることは、同じ時代を生き抜いている仲間の一々として、そして、たくさんの方の人生に関わる仕事をしている者として、読んでいただいた皆さんが人生をより良く生きていくためにできることを一緒に考えていくことだと思い、この本を書くことを決めました。人生の創り方に決まった方法はありません。そのため、この本で「べき論」を語るつもりは全くありません。誰かと同じ方法を行っても、必ずその通りになるわけではありません。でも、様々な方々の経験から導き出された原理原則は蓄えられています。この本では、その原理原則を少しでもわかりやすく、そして皆様の今の現実の生活に取り入れていけるように提案して、これからの時代を生き抜くことについて一緒に考えていければと思います。ぜひ、「自分だったら」という視点を持って、自身に置き換えながら読み進めていただき、自分なりの目標を立て、それに向けて一つでもできることを行動に移していただければ幸いです。読んでいただいた方が、こう生きたいと思っっている希望を少しでも実現させて、自身にとつての充実を感じていただけますように。

本書では各章の冒頭にそれぞれの章の内容につながる言葉を紹介しています。言葉は伝え手の意図から学ぶことが大切なのですが、本書の想いとしては、受け取り手なりの解釈を持つて、生き抜くことについて考えていただければと思っています。そのため、冒頭の言葉については、直接的な説明を控えています。章の最初に、それぞれの言葉に触れ、頭に置いて読み進めてもらえれば幸いです。